



「見たり、聞いたり、探ったり」No.290

通算 No.441

青木行雄

高知県四万十町最新製材機設備
「しまんと製材工場」と「土佐材・御用木」について
(協組)「高幡木材センター」へ研修会

高知県といえば南面が太平洋の海に面した県で海の印象が強いかも知れないが、実は森林面積が84%を占める、森林率日本一の「森林の県」である。

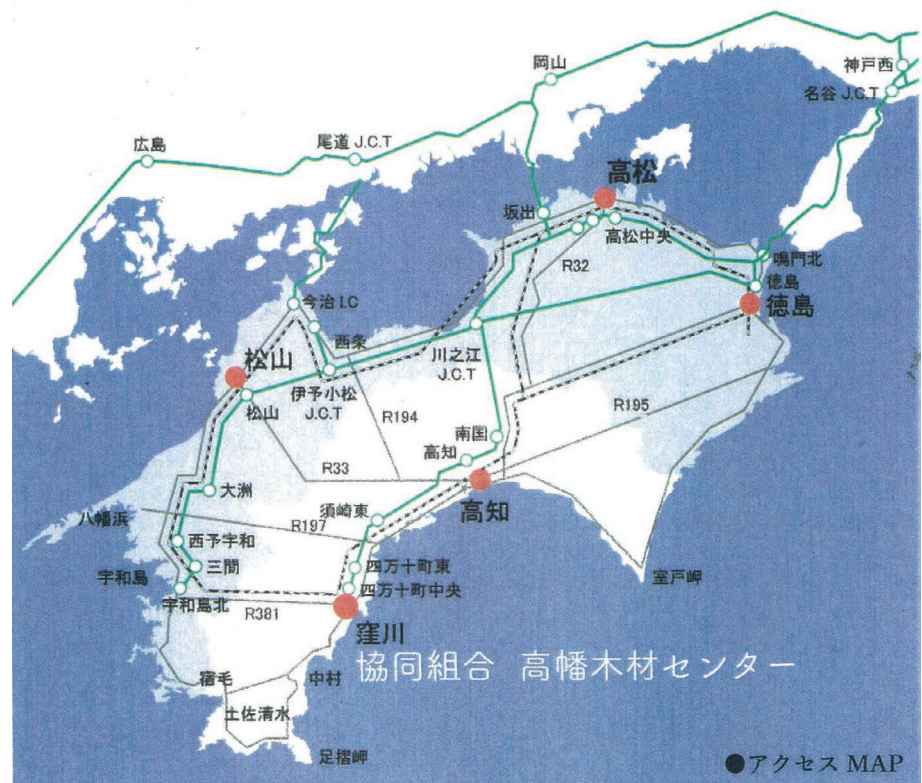
高温多雨多湿の気候風土で育った豊かな森は、清らかな水を育み、四万十川、吉野川など全国に知られた清流のふるさとでもある。

この豊かな森で育った良質のヒノキ・スギは室町時代から全国に名を馳せ、一般家屋や社寺仏閣などにも広く利用されてきた。

土佐材は、安心・安全・高品質をお届けする「森からの贈り物」だ。など緑ゆたかな高知県の中に古くからヒノキの産地として有名な「土佐ヒノキ」、「幡多ヒノキ」、「四万十ヒノキ」などと呼ばれる優良な木材の有名産地である。

材の芯のあざやかな赤みと強い香りが特徴で、油脂分を多く含んでいるため、年月を経るごとに光沢が増し、耐久性も高いのが特徴である。こういった高知産ヒノキの特徴が評価され、京都の西本願寺の修復や新国立劇場の舞台の床材にも使われている。

土佐材は、大阪城築城の時太閤秀吉から「日本一」というお墨付きをもらったことで、全国に知られる銘木となった。江戸時代の初期には大阪城や伏見城などの修築をはじめ、大きな戦乱



四国の地図、アクセスMAP 高幡木材センター(四万十町東)

に巻き込まれた大阪のまちの復興にも多くの土佐材が使われるなど、昔から全国で広く利用されてきた。大阪で日本で最初の木材市場を開き、土佐藩の財政救済に貢献してきた歴史がある。今も大阪に残る「土佐堀」「白髪橋」といった地名はその名残りといわれている。

今回の研修勉強会の中に土佐材を「御用木」として朝廷・幕府への献上材が知らされた。大きさや寸法はさだかではないが本数で書かれていたので、興味本意に何点か取り出し記して見た。

1. 1607年(慶長12年) 10,000本 駿府城普請用
1. 1624年(寛永元年) 65,000本 二条城・大阪城普請
1. 1626年(寛永3年) 35,000本 大阪城用材
1. 1636年(寛永13年) 66,440本 江戸城普請用
1. 1639年(寛永16年) 56,346本 江戸城本丸用
1. 1658年(万治元年) 89,173本 江戸城、明暦大火復興用材
1. 1789年(寛政元年) 20,000本 皇居造営料

全部ではない。一部を記して見た。

1658年(万治元年)明暦の大火で江戸城が焼失した後、町の復興に土佐藩の役割は大きかったようである。

実に小さな話になるが、1992年(平成4年)私の自宅を千葉に新築した折、知り合いの紹介で近くの工務店にお願いした。プレカットの最初の頃で、この土佐のオール桧でプレカット加工も土佐で加工し大工さんも土佐の方々だった。32年程たった今、襖も障子も狂いがまったく無くがっちりとしている。1階がヒノキの4寸角、2階がヒノキの3.5角を使用。1階は柱を2間もので天井を高くしてもらった。今回建てかえるつもりで、工務店に相談したら、あまりにも狂いが無いのもったいないと、全面リフォームとなった。こんな経緯もあって、今回の研修旅行には力がはいった。

本題からちょっとそれるが32年前、高知材がプレカットされ、大工さんと共に現場に着いた件。しかも骨組は全部機械加工されていた。まだ東京でも下小屋で多くの大工が加工していた頃でもある。まだこの土佐材もプレカットが完全ではなく穴の位置など大工の補足がかなりあったようだ。

又、以前、型枠(コンクリートを打ちこみ成形するための枠組)を杉板や北海道のエゾ板を相削りして使用していたころ、コンパネ(ベニヤ板)が出てから、あっという間に変ってしまった。

プレカットも、環境の変化と共に急速に変っていった。

この環境の変化に対応出来る人が生きのこれることになる。個人も会社もみな同じだ。



四万十川の中流。山林の栄養が十分に満ち足りて、魚にやさしい四万十川



四万十川の上流。あゆの繁殖に最高の環境と思われる

「しまんと製材工場」について

会社名、(協組)高幡木材センターの企業理念

「未来に届ける

変わりゆく社会、変わらぬ自然

互いの調和を考え

豊かな環境を作るために

エコロジーな循環社会を目指し

自然の恵みを価値ある未来へと届ける」

この文面に感動したので記した。

～会社概要～

社名	協同組合高幡木材センター	
所在地	○製材部門(しまんと製材工場) 高知県高岡郡四万十町東大奈路505 ○製品市場部門 高知県高岡郡四万十町金上野1134-2	
敷地面積	約13,900㎡	
代表者	代表理事 伊藤訓新	
創業	昭和46年8月	
組合員	伊藤製材有限公司(四万十町大井川1655) 上村製材所(四万十市西土佐江川崎1243-1) 共栄興産有限公司(四万十町小石34-15) 有限会社関西木材建設(四万十町大正710-4)	
沿革	昭和46年8月 窪川官材製材協同組合センター部発足 昭和47年10月 協同組合高幡木材センター設立「市売り事業」開始 昭和55年3月 市売り事業を四万十町東大奈路に移転 令和3年7月 市売り事業を四万十町金上野に移転 令和4年3月 震災仮設住宅用建材備蓄倉庫事業開始 令和4年4月 しまんと製材工場落成「製材事業」開始 令和4年10月 しまんと製材工場 JAS 工場認定取得 認証番号 JLIRA-B-58-31 機械等級区分構造用製材、目視等級区分構造用製材 現在に至る	
従業員	役員 4名 営業 3名 事務員 4名 工具 21名 運転手 1名	計33名 R5.11.10現在
令和4年度実績	○製材部門(しまんと製材工場) 製品出荷量 8418.82m ³ (うち JAS 製品 230.7617m ³) ○製品市場部門 製品取扱量 3456m ³	
しまんと製材工場施設整備	1. 工期 令和3年5月～令和4年3月 2. 総事業費 1,484,832千円 3. 補助金 1,021,704千円 (国県 886,719千円、町 134,985千円) 国補助事業：合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策交付金 県補助事業：高知県木材加工流通施設整備事業費(大規模高次加工施設) 町補助事業：四万十町木材加工流通施設整備事業費 4. 自己資金 463,128千円 5. 機械設備 <ul style="list-style-type: none"> ①リングパーカー ②大型自動ツイン帯鋸・ツイン帯鋸テーブル ③帯鋸オートテーブル ④2面ギャングプレナー・丸鋸ツインソー・横型帯鋸盤・エッジャー ⑤加工7軸ホルダー ⑥4面鉋盤 ⑦減圧乾燥機・木材乾燥機 ⑧木質バイオマスボイラー ⑨機械等級区分装置(JAS材)…強度測定器・水分測定器 	



高幡木材センター 事務所



高幡木材センターの事務所側と倉庫



事務所前に初代理事長「山崎明正氏」の顕彰碑が立っていた



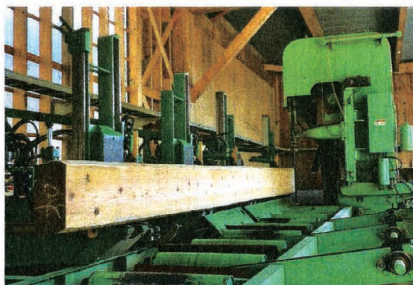
高幡木材センターの研修室にて 勉強するメンバー

設備概要 Overview of facilities

製材機械 最新の製材機により、省人化・省スペースを実現し、大幅に生産性を高めました。



ノーマンツインバンドソー



シングルバンドソー



横バンドソー

乾燥機 最新の乾燥システムにより、色・艶・香りにこだわった高品質の乾燥材を安定供給いたします。



常圧乾燥機

減圧乾燥機



バイオマスボイラー

加工機 構造材は最新加工機械ラインにて精度の高いJAS材をご提供いたします。



4軸モルダー



モルダーギャング



グレーディングマシーン

納入事例 Delivery example

事例紹介 非住宅物件、一般住宅など多様な物件にて採用いただいています。



四万十町本庁舎



佐川 道の駅 (2023年春開業予定)



十和 道の駅



木材製品を視察するメンバー達と地元の方達



土佐材丸太を視察するメンバー達と地元の人達



すばらしい原木を視察するメンバー



高幡木材センターの工場内。視察するメンバー



全自動の最新製材機。ここまで製材機も進歩した

特記

高知に行ったらあなたは何を食いたいかと聞かれたら、やっぱり海の幸、「カツオ」かも知れない。

高知ではカツオの表面のみをあぶってから厚めに切り、タマネギや大葉、ニンニクなどの薬味を盛り付け、タレをかけてい

ただ高知の名物料理、又、タレではなく、塩をつけて味わう塩たたきも有名であるという。

今回どうしても食べたかった料理が四万十川の「アユ」の塩焼きであった。

地元の紹介で「呑んだ久礼」という小料理やに行き、大変おいしい天然のアユも食することが出来た。20cm以上もあろうかという大型のアユで塩焼きの内臓をとり出し熱燗に入れて飲む。その時入れすぎないことと注釈がついた。ふぐのヒレ酒はなじみだが、このアユの熱燗は格別で味も最高でした。

ウナギも有名で四万十川を中心に獲れる天然ウナギは特別だが今回は食することが出来なかった。名物も時期があるので合わせて探索することも大事である。

製材工場の「ノコ」の目立ては全国的にどこでも深刻で大変のようであった。

高知県木材協会の小川会長を始め、皆様には連日御案内を頂き大変御世話になった。感謝とお礼を申し上げます。



「飲んだ久礼」小料理やの主人。とにかく「あゆの塩焼き」は最高においしかった



「あゆの塩焼き」は20cm以上もある四万十川のあゆ。塩焼の内臓を熱燗で呑む